

# ハラスメント研修開催報告

開催日時:【第1回】令和5年4月5日(水)15:30~ 8名

【第2回】令和5年4月13日(木)15:30~ 11名

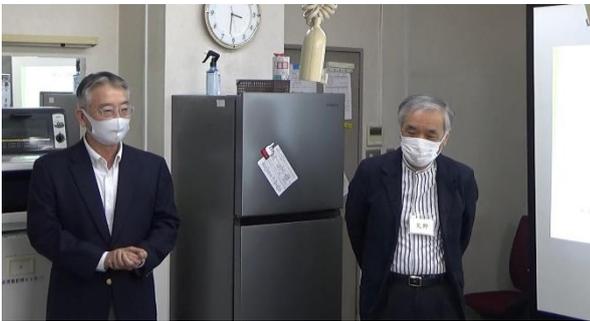
場 所:医 局

講 師:矢野 達仁氏(日本産業カウンセラー協会関西支部シニア産業カウンセラー)

演 題:ハラスメント・ライン研修~ハラスメントへの認識を深める~

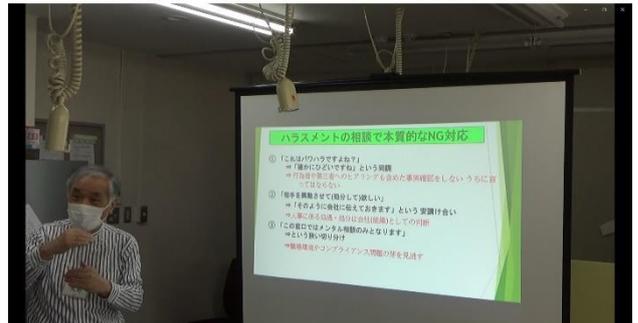
管理職及び各職場のリーダーを対象に「ハラスメント研修」を開催しました。

最初に安島院長補佐より、自身の経験から、昔の感覚では問題ないように思えることも現在の社会通念上は許されないことが増えてきているため、ハラスメントについてこの機会にしっかりと学習し、職員皆が働きやすい組織を作っていきたいという研修目的を説明いただきました。

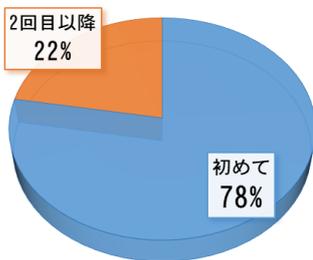


講師の矢野先生は、内資メーカーの営業職での勤務を経て、外資メーカーにて5年間人事部門でメンタルヘルスを主幹後、総合病院でメンタルヘルス推進課を立ち上げられたご経験があり、具体的な例で、営業部門にいた時と、現在では全くハラスメントに対する考え方が変わっていることをお話しいただきました。

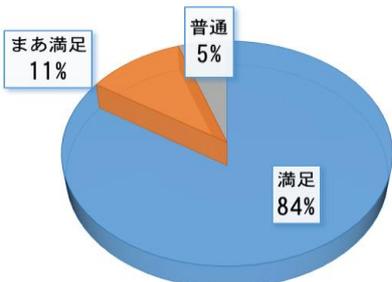
【講義内容(一部)】ハラスメントは、行為者の悪意の有る無しにかかわらず、受け手がそう感じたらハラスメントになりうる。例えば、直接叱られている人でなくても、過度である、執拗であるなど、周囲が働くことに支障を感じた時点で就業環境が害されており、ハラスメントになりうる。全ての職員がハラスメントの加害者・被害者になりうるため、ハラスメント



ハラスメント研修に参加したことがあるか



研修の満足度



防止の意義を理解し、意識するとともに、自分の感情、相手に発している言動や態度に気付きコントロールする、自分なりの方法を身に付けることが大切である。

職場からハラスメント行為を亡くすことは働く人たちの強い願いである。パワハラは相手の尊厳を傷つける人権問題になるし、組織としてもリスクマネジメントの視点から重要な経営課題であり、重点的に対策を講じる必要がある。(一部要約)

受講者アンケートから、「自分には縁がないことだと思わないようにしたい」、「ハラスメントの問題は簡単に善と悪に分けられないこともあると思った」等のご意見をいただきました。

個人としてもこれまで以上にハラスメント防止を意識し、組織としても、ハラスメント対策をより一層進めていく必要があると感じました。(報告:事務部)